

## 協議第2号 七尾市のまちづくりの課題について

### (1) 交流のまちづくりに向けて

従来の観光に加え市民参画のもと、豊富な地域固有の地域資源（観光資源等）を積極的に活用して、交流基盤・手段の強化を図り、七尾への来訪者の増加に努めるとともに、地域間交流を推進し、賑わいやふれあいを創り出していくまちづくりが必要です。

### (2) 福祉・保健・医療の充実に向けて

子どもからお年寄りまで、生涯にわたって社会参加を通じて生きがいを持ち、また健康で安心して住める社会システムづくりとして、市民が共に尊重し、助け合うことで、子どもや高齢者・障害者をまちぐるみで応援することができるまちづくりが必要です。

### (3) 教育・文化の振興に向けて

地域、家庭、学校、行政が一体となって子どもたちが健やかに育つ環境を整えるとともに、市民が生涯学習活動やスポーツ・レクリエーション活動に参加できるまちづくりに取り組む必要があります。

また、本市には、「祭り」に代表される地域が育んできた郷土色豊かな文化があります。こうした行祭事や文化に市民がふれあい、市民のまちづくりへの意識を高め、伝統的な芸能の継承を支援することが必要です。

### (4) 産業活力の創出に向けて

豊富な地域固有の産業資源を積極的に活用し、相互間の連携により、新たな産業の創出や既存産業の活性化を図るとともに、港を中心に発展してきた歴史がある港湾機能の充実を図り、中心市街地の活性化にも取り組む必要があります。

また同時に、東海北陸・能越自動車道の開通にあわせた中京圏とのつながりを強化するため、企業誘致活動や港湾機能の充実を図ることが必要です。

### (5) 都市基盤の整備に向けて

本市は、能登半島の中核都市として総合的な都市基盤整備によって近隣は基より広域的に交通・情報等のネットワークを強化していくことが重要です。

このため、平成26年度予定の北陸新幹線金沢開業、平成20年代前半の能越自動車道七尾東IC等の活用をはじめ、幹線道路のネットワークの整備を図る必要があります。

また、地域間の情報網として、光ファイバーによる情報通信基盤等総合的なIT戦略を進めることが必要です。

## (6) 安全で住みよい生活環境の向上に向けて

住みよいまちを自らの手で創り出す市民活動を尊重し、その活動を支える防災・防犯・交通安全の基盤や広域的な体制の充実を図る必要があります。

また、持続可能な循環型社会の取り組みとして、行政・市民が一体となって、地球環境汚染の防止や環境への負荷の少ない社会の実現に取り組むことができるまちづくりが必要です。

さらに、豊かな自然環境に恵まれた七尾市は、七尾湾に面した風光明媚な景勝地を保全するだけにとどまらず、貴重な環境資源として積極的な活用を図ることが必要です。

## (7) 市民とともに歩む、健全なまちづくりに向けて

社会経済環境の変化に対応し、将来にわたって、まちが継続的に発展していくためには、市民と行政が協働してまちづくりを進めていく必要があります。

また、市民本位の効率的で質の高い行政経営を進めることが必要です。